

LIVE

今月のテーマ

RSウイルス感染症

秋口から多くなる感染症です。

RSウイルスは普段私たちが生活をする環境内に存在しており、世界中に分布しています。日本でもほぼ100パーセントの人間がRSウイルス感染症になったことがあるとされるほど、非常に身近な感染症の一つです。

しかし、抵抗力の少ない乳幼児の段階で感染することがほとんどですので、重症化すると様々な危険があることが指摘されています。

夏の終わりごろから翌年の春先まで患者が報告されることが多いのですが、ピークを迎えるのは11月から翌1月頃とされています。



気管支を中心に症状はさまざまです。

感染経路は飛沫と接触感染で、2～8日の潜伏期を経て70パーセント近くの乳児が生後一年以内に発症します。初期症状は鼻水や発熱などの風邪に似た症状が数日続いた後、発熱が落ち着く代わりにせきが増え、気管支を中心とした症状に移ります。

さらに重症化すると気管支炎、肺炎につながる以下の青枠内のような症状が出るとされています。

※ 1～3パーセント程度が重症化するとされています

2歳以上になると重症化することはほとんどなくなり、くしゃみや鼻水など風邪の初期症状と混同されることが多くなることから、保育所などが感染経路の一つとなりがちです。

また免疫力の落ちる高齢者などでも感染しやすいため入院病棟や特別養護老人ホームなどでの集団感染につながることも指摘されています。

重症化した時に出る症状

- ゼーゼーと苦しそうな呼吸が続く
- せきが酷く夜中に何度も起きてしまう
- せき込むあまりに吐いてしまう
- 上記の症状が熱が引いても続く

※ このような症状が出たら速やかに医療機関へ！！

まずは予防をすることが大切

治療法としては対症療法が主なものになり酸素投与、輸液、呼吸管理などを行います。またワクチンが存在しないため予防法としては以下のようなものが非常に重要になります。

- ☆ うがい、手洗いはしっかりとする
- ☆ 複数の人でタオルやコップ、洗面器などの共有をすることは避ける
- ☆ おもちゃやドアノブ、手すりは市販の消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム水溶液(0.02%)でこまめに消毒する
- ☆ 家族や保育所などのスタッフはマスクをしましょう

出典:国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html> を元に加工して作成

From the author・・・消毒と手洗いをしっかりと予防につなげたいものです

